



迷いやすいごみの分別方法 (例)

品目	分別区分
布団	粗大ごみ (環境センターへ直接搬入)
アルミホイル	燃やせるごみ
電気コード・ケーブル	燃えないごみ B 類

ごみの中には正しく分別すれば、再資源化できるものがあります。ごみの分別に迷ったときは、「ごみ分別辞典WEBサイト」を活用しましょう。サイト内の検索欄にごみの品名を入力すると、簡単に処分方法を知ることができます。

その他、市のホームページでは、出し方や分別に迷いやすいごみについて、処分方法を紹介しています。ごみの分別ルールを守って、3R (リデュース・リユース・リサイクル) の暮らしを目指しましょう。

ごみの分別に迷ったら...



高島市スポーツ推進委員会の取り組み2

高島市スポーツ推進委員会が行う本年度の主な活動として、5月号の取り組みのほか、次のとおり計画しています。

スポーツイベントへの協力

6月10日(土) グリーンパーク 想い出の森(朽木)を主会場に『第10回 FAIRY TRAIL』びわ湖高島トレイルランニングイベントが開催されます。当該イベントをはじめとして、市内のスポーツイベントへ積極的に協力するなど、地域のスポーツリーダーとして、市のスポーツ振興に向けた取り組みを展開しています。



FAIRY TRAIL 受付対応



栗マラソン 受付対応

ニュースポーツの普及啓発

自治会、公民館、小学校および学童保育等にニュースポーツの普及活動として、出前講座を開催しています。

高島版ニュースポーツ『ボールダート』

ボールダートとは、グラウンド・ゴルフ用具を利用する軽スポーツで、グラウンド・ゴルフの打撃感覚とダーツ的あてゲームの面白さをミックスした誰でも気軽に楽しめる屋内スポーツです。



依頼があった地域等に出向いてスポーツ活動をサポートする、「出前講座」も行っていきますので、ぜひご依頼ください!

安全安心な暮らしのための

警察が刑法に違反する行為と認められた事件の発生件数を示す「刑法犯認知件数」は、平成25年以降、滋賀県内では減少傾向で推移していましたが、昨年は9年ぶりにその件数が増加に転じ、また、その増加率が全国1位であったことは報道等で伝えられたとおりです。

高島警察署からの詳しい報告により、令和4年に管内で発生した認知件数は238件であり、前年に比べて37件も増加しています。

犯罪の種類では「自転車盗」が最も多く、次いで「万引き」、「車上ねらい」と続きますが、いずれも私たちの暮らしに身近な街頭における犯罪が非常に多く発生しており、その背景としては、コロナ禍における行動制限や自粛生活が次第に緩和され、屋外における人流の増加と社会経済活動が復活し始めた事に加えて、国内における物価高やエネルギー価格の高騰など、不安定な経済情勢が続いている

この影響を大きく受けているものと考えられます。また、最近市内でも特に多く発生しているのが「特殊詐欺犯罪」です。

「架空料請求詐欺」や「サポート詐欺」といった、巧妙な手口で財産や個人情報等を奪う犯罪が次々と発生しており、特に高齢者の方が多く被害に遭われています。

市といたしましては、こうした状況を踏まえ、これまで以上に警察と協力した防犯対策に努め、区・自治会や関係団体とも連携しながら、地域での声掛けや防犯パトロール等の啓発活動を推進し、防犯意識の高いコミュニティを築くことにより、犯罪の抑止に努めて参ります。

市民の皆さまにおかれましても、犯罪に対する警戒心を常に保ちながら、安全安心な暮らしを守るために冷静な判断と行動を日頃から心がけていただき、また、ようお願い申し上げます。

福井 正明

市長雑記



近年に整備されたごみ処理施設の現状について ~安全安心かつ地域に親しまれる施設を目指して~

環境講演会

新ごみ処理施設建設に向けて、市民の皆さんに最新のごみ処理技術や全国の取り組み事例などについて分かりやすくお話いただき、ごみ処理の問題について知っていただくことを目的に、講演会を開催します。皆さんのご参加をお待ちしています。

ぜひ参加してヤン!



日時 6月11日(日) 14時~16時 (13時45分開場)

場所 藤樹の里文化芸術会館

申込 不要

講師



荒井 喜久雄さん

講師紹介
○公益社団法人 全国都市清掃会議 技術指導部長
市町村等への技術支援業務等を担当。国、都道府県、市町村の廃棄物処理についての各種委員会の委員を歴任。

可燃ごみ搬出量
現在、三重県の民間ごみ処理業者へ委託して焼却処分しています。ごみの量に応じてごみ処理費用を負担することになりますので、ごみの分別や減量にご協力ください。

測定月	収集量
令和4年4月分	1,202t
令和5年4月分	983t (前年比 219t 減)

